



さいじょう 国際交流NEWS

第18号 March 2018

目次

西条市国際交流協会
定期総会のお知らせ 1

市民語学講座のお
知らせ(中・韓) 1

最近のイベントあ
れこれ特集 1

丹原町国際交流協会ス
ピーチコンテスト 2

NPO 法人地方再考
個別化医療支援の
スピーチコンテス
ト 2

西条市の皆さんに
届けたいベトナム
人実習生の物語 3

平成30年度会員
募集のお知らせ 3

DATES WITH
DIANA 4

国際交流INFO 4

さいじょう国際交流NEWS

は年4回西条市国際交流協
会事務局によって発行され
ています。ご質問・ご感
想、または掲載してほしい
情報がありましたら下記ま
でご連絡ください。

～定期総会のお知らせ～

◆日時 平成30年5月19日(土曜日) 13時～

◆場所 西条市役所 本館5階 大会議室

詳細につきましては、総会の出欠のはがきと一緒にご案内する予定です。
是非会員の皆様の出席をお待ちしています。

<平成29年度実施事業>

◆市民語学講座(中・韓・越・英)

◆産業文化フェスティバル(4/29)

◆ヤングリーダー(7/20～8/5)

◆日本料理教室(9/25)

◆産業祭(11/11.12)

◆スクエアダンス講座(2/24)

◆国際交流合宿“English in Action”(3/23～25)

◆ダイアナのミニ講座(Mommy and Me, Let's Read Together, チーム翻訳、読書クラブ)

◆国際交流カフェ(年4回)

◆ハワイ講座(7/15)

◆国際交流月間(8/1～31)

◆ハロウィンパーティ(10/28)

◆クリスマス講座(12/3)

◆ベトナム食文化体験(2/3)

◆VIETNAM OSHOGATSU IN SAIJO 2018(3/18)



平成30年度市民語学講座のお知らせ

○受講期間・時間 : 平成30年6月～平成31年3月

◆中国語(土曜日・各20回)

中級 13時30分～15時 / 初級 15時30分～17時

◆韓国語(日曜日・各20回)

中級 13時20分～14時50分 / 初級 15時10分～16時40分

○対象 : 7割以上の受講が可能で次のいずれかに該当する方。

①西条市内在住・西条市に通勤している方

②西条市国際交流協会会員

○定員 : 各講座20名

○場所 : 総合福祉センター

○料金 : 6,000円 (国際交流協会会員は5,000円)

○申込期間 : 5月1日(火)～5月18日(金)

○申込先 : 市庁舎本館3階地域振興課国際交流係内西条市国際交流協会事務局

T E L : 0897-52-1206

※これらの講座は専門的な語学講座ではありません。

※英語・ベトナム語講座は11月頃の開講を予定しています。



★イベント開催状況★

ベトナム食文化



スクエアダンス講座



Mommy and Me





ファジャル・ユリアントさん

★～★第18回国際交流スピーチコンテスト★～★

平成29年12月24日(日)に丹原町国際交流協会によるスピーチコンテストが丹原公民館でありました。外国人スピーチ、小学生、中高生の英語スピーチ、韓国語・中国語会話のサークル生のスピーチ等が行われました。外国人によるスピーチでは、インドネシアから技能研修生として来られている、ファジャル・ユリアントさんが『インドネシアの伝統文化「ワヤン」』について最優秀賞及び愛媛新聞社賞に輝きました。

スピーチ要約→→→→→

ユリアントさんの感想

私は、今までに丹原町国際交流協会のスピーチコンテストを2回見たことがあります。私もこのコンテストに興味を持ちました。そして、先生に「スピーチコンテストにでてみないか」と言われた時、私は喜んでお受けしました。

私は、ワヤン(インドネシアの人形劇)が好きなので、これについて話そうと思いました。そこで私は、ワヤンのことをよく知っている父に色々聞きました。でもスピーチ原稿の書き方を日本人の友達に聞きました。友達は、私が話しやすいように、易しい日本語を教えてくださいました。その原稿を先生にも直していただき、発音も指導していただきました。はっきり、ゆっくり、大きな声で話すことや、難しい発音のことも教えていただきました。

スピーチの時、最初は緊張しましたが、しばらくするとリラックスして話せるようになりました。そして皆さんのおかげで優勝することができて、とても嬉しかったです。私だけではなく、家族、社長、友達もとても喜んでくれました。この経験はいつまでも忘れないと思います。

私はファジャル ユリアントと申します。インドネシアのジャワ島パニユマス出身で、インドネシアの島にはその島独特の伝統的なお祭りや踊り、服などがあります。

ジャワ島には「ワヤン」という操り人形の劇の伝統文化があります。10世紀頃から続いていて少なくとも年に一度行う神様にお礼をするための劇です。昼に行うワヤンをルワットといい、昼の劇が終わった後はお供えのお米やココナッツ、ピーナッツをいただいて帰ります。丁寧な言葉が使われているワヤンにはラマヤナ、マハバラタやシンパング等色々な物語がありますが、同じような内容で正義が勝って悪が負けるという物語です。この物語は私たちに何が正しいかということを教えてくれます。

一人で50くらいの声で色々な役を演じワヤンを操る人はダランと言い、ダランは劇の前には断食をしなければなりません。音楽を演奏するメンバーはナヨゴといい、30人くらいのナヨゴはケンダン、ゴン、ケノンやサロンという楽器を使い演奏します。ワヤンの劇でジャワの歌を歌う人はシンデンといい、日本人の女性でシンデンになった狩野裕美さはジャワではとても有名です。

2003年11月7日に、ワヤンはユネスコの無形文化財に登録されました。このワヤンをインドネシアの伝統文化として、とても誇りに思っています。

私は日本の文化をもっと知りたいです。そして、ただ、知るだけではなく、日本人たちと一緒に体験したいです。

Q1. お名前を教えてください。

A1. 吉岡紗良です。

Q2. 何年生ですか？

A1. 小学1年生です。

< NPO 法人 地方再興・個別化医療支援

英語スピーチコンテスト>

Q4. コンテスト当日までにどれくらい練習しましたか？

A4. 原稿を仕上げて12月26日ごろから毎日30分から1時間しました。

Q7. 将来の夢は？

A7. スピーチの内容通り、建築家です。

平成30年1月7日(日)に西条図書館で英語スピーチコンテストが実施されました。小・中・高校生の部門があり、参加者は3つのテーマ「ふるさと」・「夢」・「家族」から選び自分の思いを英語で堂々とスピーチしていました。今回は小学生部門で優勝した吉岡さんにインタビューをしてきました。

Q3.

スピーチコンテストに応募したきっかけは何ですか？

A3. 学校から配布された用紙を見て、出場したいと思い応募しました。

Q6. 普段から英語の勉強はしていますか？

A6. 英会話教室でのレッスンと宿題や教材のDVDやCDを見たり聞いたりしています。小さい時から英語が大好きでした。

Q8. コンテストに参加してみて、いかがでしたか？

A8. 英語を覚えるのは難しかったけど、お家の絵をかいたり皆さんの前で発表できて楽しかったです。来年も参加したいです。

Q5. スピーチの内容を教えてください。

A5. Hello. My name is Sara Yoshioka. I'm 7years old. I go to Saijo Elementary School. My favorite food is grape. It's tasty. I like to play with my friends, I like to swing. My favorite colors are yellow and purple. I have a family of four. My father, mother and a younger brother. I love my family.

When I grow up, I want to be a designer of the house. My father runs a construction company, I saw many nice houses. I like them. And I like to draw pictures. My favorite TV program is "Junintoiro". It is about houses. I can see many good one. It's fun.

<絵の紹介> I drew picture. This is my favorite house. it's simple. Many trees and plants. I will think and draw many houses to be a designer. I hope my dream will come true. Thank you.

Excellent!



★「西条市の皆さんに届けたいベトナム人実習生の物語」★

西条市には現在約1300人の外国人が暮らしており、その半数くらいは技能実習生です。技能実習生は、技能実習を通じて日本の進んだ技術・知識を学び、帰国後に母国の経済発展に生かすことが期待されています。彼ら、彼女たちは仕事上の研修だけでなく、日本人との交流、日本語の学習も希望しています。そこで、仕事が終わった後や週末に西条市民によるボランティア団体の日本語教室で日本語の学習を頑張っています。先日行われた第18回国際交流スピーチコンテストで最優秀賞に輝いたインドネシアのファジャル・ユリアントさんもそのお一人です。彼を含めた7人の出場者のスピーチのテーマは、母国の紹介、日本での出会い、将来の希望等々、どのスピーチも参加者の心に届きました。それらの中で、ベトナムからの実習生チャン・トゥイ・アン(Tran Thuy An)さんの「私のいちばん大切な人-母-」というスピーチでは、国にいる母への思い、日本での出会いと将来への夢が語られました。



ベトナム民族衣装アオザイを着ているチャン・トゥイ・アンさん

彼女のお父さんは外国へ働きに行ったため、お母さんはたった一人で彼女を含め子ども3人を育てていました。どんなに困難に遭っていても、アンさんたちにいっぱい愛情を注いでいます。そのお母さんのやさしくたくましい姿は、幼い頃からアンさんの心に深く刻まれていました。苦勞しつづけてきたお母さんの力になりたくて、アンさんは日本で働くことを心に決めました。現在、彼女は市内のスーパーで働きながら、日本語の勉強も頑張っています。日本での3年間の研修は長くはないですが、できるかぎり有意義な時間を過ごしたいと望んでいます。そして、ベトナムに戻って、日本での仕事の経験と日本語の能力を生かして、ベトナムでよい仕事に就くことを希望しているのです。アンさんは毎日のようにベトナムにいる母のことを思い出します。そんなある日、彼女が働くスーパーで母とそっくりな日本人の女性を遠くから見かけました。あまりに突然だったことと勤務中だったためにその女性に声をかけられなかったのですが、もう一度会えるのを心まちにしています。大好きな母が日本にもいるように感じているのです。

私は、アンさんのベトナムにいるお母さんと日本にいる“お母さん”の物語を聞いて、胸がぎゅっと締めつけられました。技能実習生の皆さんは西条に住みながら、心の中のどこかで「ふるさと」と「家族」を思っていて頑張っているのだと感じました。技能実習生は周りの人から出稼ぎに来ていると思われることが少なくないようですが、実は、彼らと彼女たちは日本の先端技術や文化にあこがれて学びにきており、自分の将来、母国の発展のために希望と夢を持って頑張ろうとしています。

西条市の方々がいつか、どこかで彼ら彼女たちの精神的な支えになってくださることもあると思います。街で見かけたら、ぜひ声をかけてみてください。そしたらきっと、西条での生活が今よりもっともっと素晴らしくなり、楽しみも増えて、心からこの町を愛する心が育まれることでしょう。

平成30年度
会員募集をしています



【年会費】

個人1,000円、学生(高校まで)500円、団体10,000円

【会員期間】 2018年4月1日～2019年3月31日

【入会方法】

(現存会員の方) 平成30年度会員について案内を郵送させていただきます。引き続きよろしくお願いいたします。
(新規の方) 「会員申込書」に必要事項を記入し、西条市国際交流協会事務局(国際交流係)に提出してください。
(申込書は市役所、各総合支所、公民館等施設に設置している他、協会HPからもダウンロードできます)

<<http://www.saijo-iea.jp/membership/>>

西条市国際交流協会 入会案内

検索



<事業提案を募集します>

平成29年度もたくさんの事業を提案していただき、ありがとうございました。平成30年度も楽しく地域の国際交流につながる活動を計画しています。「こんなことやってみたい!外国人がこんなことで困っている。」などありませんか?皆様のやる気とアイデアをお待ちしています。(29年度実施事業は1ページを参照して下さい)

◆提案者:協会会員(団体・個人・学生)

◆内 容:西条市の国際交流に関する事業

◆応募方法:「西条市国際交流協会 事業提案書」を提出(まずは電話またはメールでご相談ください)

◆提出期限:3月30日(金)締切厳守

◆提出先:西条市国際交流協会事務局

◆決定方法:理事会において審査を行い決定します

★★★★★★★★★★★★★★
★ Dates with Diana ★
★★★★★★★★★★★★★★

虚しい比較

異文化理解を深めるために、そしてそれぞれ異なる国籍、民族、文化、背景を持っている人とのコミュニケーションを上手く進めるために欠かせないことの一つを伝えておきたいと思います。それは人の痛みを比べるものではないということです。

私の経験からみると、人は苦しんでいる時に、その痛みについて言葉にしないものです。休止状態のままでいた痛みや悲しみを口にしたら、感情の存在感はより認識され、現実には苦しみが顕在化するのではないのでしょうか。言葉は負の感情に力を与えがちです。ですから、痛みを他人から隠す傾向があると思います。誰かが痛みについて素直に話をしたら、それほどあなたを信頼できるという証拠なのです。しかし、信頼しているのに、相手がすぐに「でも、他の人の痛みに比べたら大したものではないですよ」と返事をしたら、その瞬間に信頼が失われる上に、二人の間に壁が造られます。そして心の悩みを二度とその人には打ち明けられないでしょう。

なぜ私がこの話をしたいかという、アメリカ社会で人種差別は私の人生に影響を与えるからです。両親の努力と愛情のおかげで恵まれた環境に育てられましたが、私も家族も人種差別から完全に守られていないのです。だから、親しくなればなるほど、いつか私は差別された経験や差別に関する社会問題について話すようになります。

一人で落ち込むよりは親しい友達と話して、癒されて、嫌な思いを半分にしたいと思う時もあります。別に自分が可哀そうだと思っていないのに、信頼したかった友達がすぐに「黒人だけではなく、白人の民族の間にも差別があるよ」と言いながら他の人種や民族の問題と比べ始める事もありました。同じような差別を一度も受けたことがなく、アメリカの奴隷と公民権運動の歴史とその歴史から生じた社会問題について勉強されていない方からこのような反応を聞いたら、自分を守るように壁を造ってしまいます。それは日々の生活を頑張るためなのです。

人の痛みを比べるのは失礼なことだけではなく、何も意味のないことだと私は強く思います。差別は様々ありますが、「誰の差別が一番ひどい」と聞いても何も生まれません。むしろ、心が閉ざされます。「制度的差別によりどんな障害が生まれ、それに対して何をすれば社会が改善されるのか」「精神的差別により起こる苛め、暴力、疲れに対して、コミュニティは何の試みをする必要があるのか」を聞くべきです。

もしも誰かが辛いことについて打ち明けたら、他人の問題と比較しないでください。そして、人権問題について皆へ伝えたいと思っているなら、気になっている人権問題を他の人の差別や経験と比べないでください。差別は完全になくせないと言われているけど、それが真実であっても、諦めて何もしなくていいと思えるのは他人の立場から考えたことがないからでしょうか。異文化理解を深めるのに、他人の靴をはいて歩いてみましょう。

<西条市国際交流協会からのお知らせ>

①「VIETNAM OSHOGATSU IN SAIJO 2018」

アンティーさんとベトナムのお正月を西条で再現し交流をしてみませんか。

◆日 時：3月18日(日)10:00～14:00

◆場 所：丹原公民館

◆人 数：先着15名

◆料 金：会員300円 非会員500円

◆募 集：3月1日(木)～3月9日(金)

※ エプロンと三角巾をご持参ください。

②国際交流合宿「English in Action」

西条市国際交流協会では国際交流合宿を開催します。英語漬けの2泊3日を外国人たちとすごしませんか。英語が苦手な方も是非。一緒に楽しみながら英語力を高めましょう。

◆日 時：3月23日(金)14:30集合

3月25日(日)15:00解散予定

◆場 所：大町公民館

◆対 象：中学1年生から高校2年生(市内在住または市内に通学している生徒)

◆人 数：先着20名

◆料 金：5,000円(宿泊費・食事代・教材費)

◆募 集：3月1日(木)～3月9日(金)

国際交流 INFO

<イベントのボランティア募集>

○国際交流合宿

3月23日～25日

詳細については事務局まで問合せしてください。

○産業文化フェスティバル

4月29日 9:00～15:00

いずれもイベントでの簡単なお手伝いです。



①②の問合せは 西条市国際交流協会事務局まで

TEL: 0897-52-1206/ Email: kokusai@saijo-city.jp

編集後記

今回もっと真面目な記事を書きましたが、相変わらず西条で有意義な経験や出会いに恵まれています。これからも、お互いの経験から学びあいましょう！(ダ)

国際交流NEWSスタッフ:

寺岡 祐基(寺)

石村美歩(石)

ダイアナ・マリー・リントン(ダ)

グエン・ブイ・アン・ティ(ア)

フルカラーで

読める！

